

東京都立八王子桑志高等学校 令和6年度 年間指導計画（シラバス）

教科・分野：	国語	科目：	現代の国語	単位数：	2	指導学年：	1
使用教科書	現代の国語（東京書籍）	副教材	常用漢字フォルダ（浜島書店）				
			三訂版 よむナビ現代文1 基礎編（いづな書店）				

年間指導目標：

実社会に必要な国語の知識や技能を身につけるようにする。

論理的に考える力や深く共感したり豊かに想像したりする力を伸ばし、他者との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考え言葉がもつ価値への認識を深めるとともに、生涯にわたって読書に親しみ自己を向上させ、我が国の言語文化としての自覚をもち、

評価規準	知識・技能（知）	思考力・判断力・表現力（思）	主体的に学習に取り組む態度・学びに向かう力（態）
	実社会に必要な国語の知識や技能を身につけている。	論理的に考える力や深く共感したり豊かに想像したりする力を伸ばし、他者との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりしている。	言葉がもつ価値への認識を深めるとともに、生涯にわたって読書に親しみ自己を向上させ、我が国の言語文化としての自覚をもち、言葉を通して他者や社会に関わろうとする態度を養おうとしている。

評価方法				
a:定期考査	b:パフォーマンス (実技・実習・課題)	c:小テスト等	d:自己評価	e:授業態度

学期	考査	単元及び指導内容	観点	評価規準	評価方法					配当 時数
					a	b	c	d	e	
1 学期	中 間 考 査	単元名【視点を変える】 読む『木を見る、森を見る』 タイトルや具体例に注意して主張を捉え、物事を多様な視点から見る姿勢を養う。 読む『水の東西』 評論の型を理解し、評論の読み方を知る。	(知)	・言葉に、認識や思考を支える働きがあることを理解している。 ・文、話、文章の効果的な組み立て方や接続の仕方について理解している。	○	○	○	○		12
			(思)	・「読むこと」において、文章の種類を踏まえて内容や構成、論理の展開などにおいて叙述を基に的確にとらえ、要旨や要点を把握している。	○	○		○		
			(態)	・粘り強く本文の要点を把握し、学習課題に沿って視点を変えてみることを理解し、自ら論点における課題を調べようとしている。		○	○	○	○	

1 学期	期 末 考 査	単元名【言葉へのまなざし】 読む『「身銭」を切るコミュニケーション』 筆者独自の表現や具体例の働きに注意して読み、コミュニケーションの在り方について考える。 探求『発想を広げて課題を見つける』 発想を広げてアイデアを整理し、的確に伝える。	(知)	実社会において理解したり表現したりするために必要な語句の量を増やすとともに、語句や語彙の構造や特色、用法及び表記の仕方などを理解し、話や文章の中で使うことを通して、語感を磨き語彙を豊かにしている。	○	○	○	○		12
		(思)	「読むこと」において、目的に応じて、文章や図表などに含まれている情報を相互に関係付けながら、内容や書き手の意図を解釈したり、文章の構成や論理の展開について評価したりするとともに	○	○		○			
		(態)	粘り強く言葉の意味への理解に努め、学習課題に沿って筆者の主張を踏まえ、言葉の働きについて自分の考えをまとめようとしている。		○	○	○	○		
2 学期	中 間 考 査	単元名【共に生きる】 読む『真の自立とは』 「自立」の在り方について考察する評論を読み、自分の考えを持ち、視野を広げる。 読む『自立と市場』 比喩や具体例に注意して内容を読み取り、自立とそれを支えるものの関係について考えを深める。	(知)	分、話、文章の効果的な組み立て方や接続の仕方について理解している。	○	○	○	○		16
		(思)	「読むこと」において、文章の種類を踏まえて、内容や構成、論理の展開などについて叙述を基に的確に捉え、要旨や要点を把握している。	○	○		○			
		(態)	積極的に「自立」と、その対極である「依存」について筆者の考えを読み取り、理解を深め、学習課題に沿って実社会における「市場」の評価すべき点と注意すべき点をまとめようとしている。		○	○	○			
2 学期	期 末 考 査	単元名【科学から見た人間】 読む『生物の多様性とは何か』 生物の多様性について書かれた評論を読みヒトが自ら守るべき「分際」について考えを深める。 探求『異なる主張の文章を読み比べて自分の意見を書く』 読み比べて考えを明確に	(知)	主張と論拠など情報と情報との関係について理解している。	○	○	○	○		16
		(思)	「読むこと」において、文章の種類を踏まえて、内容や構成、論理の展開などについて叙述を基に的確に捉え、要旨や要点を把握している。 「書くこと」において、読み手の理解が得られるよう、論理の構成情報の分量や重要度を考えて文章の構成や展開を工夫している。	○	○		○			
		(態)	粘り強く筆者が定義する内容を理解し、学習課題に沿って「生物多様性」における自分の考えを発表しようとしている。 積極的にテーマに沿った本を探し、学習の見通し		○	○	○	○		
3 学期	学 年 末 考 査	単元名【近代の先へ】 読む『暇と退屈の倫理学』 暇を得た社会の中で、個人はどう生きればよいかについて引用と主張の関係に注意して読み取る。 読む『<私>時代の民主シー』 <私>が尊重される現代社会における民主シーが抱える課題を理解し、視野を広げる。	(知)	・言葉に、認識や思考を支える働きがあることを理解している。 ・文、話、文章の効果的な組み立て方や接続の仕方について理解している。	○	○	○			22
		(思)	「読むこと」において、目的に応じて、文章や図表などに含まれている情報を相互に関係付けながら、内容や書き手の意図を解釈したり、文章の構成や論理の展開について評価したりするとともに	○	○					
		(態)	粘り強く筆者の考えと引用を読み解き、学習課題に沿って実社会における生き方について筆者の主張を理解し、自分の考えをまとめようとしている。		○	○		○		
									合計	78